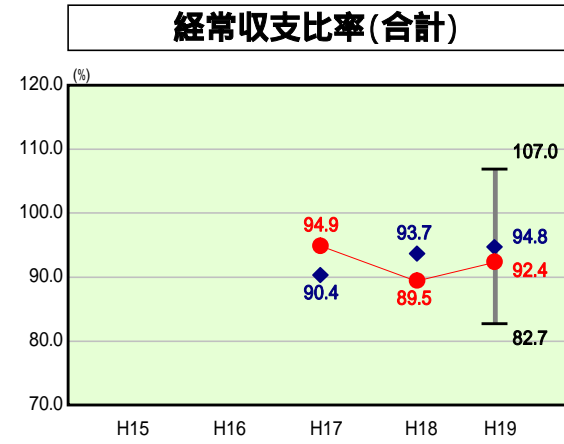


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

千葉県 南房総市

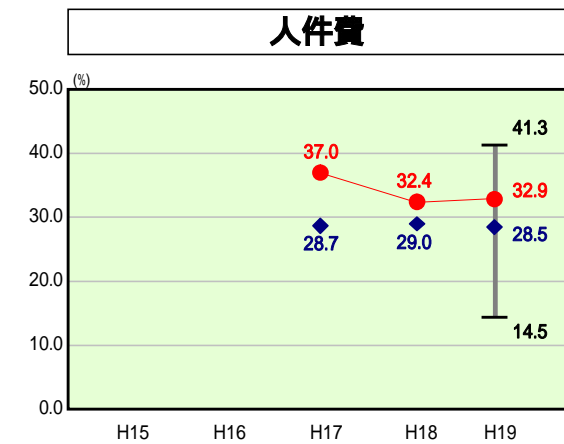
経常収支比率の分析



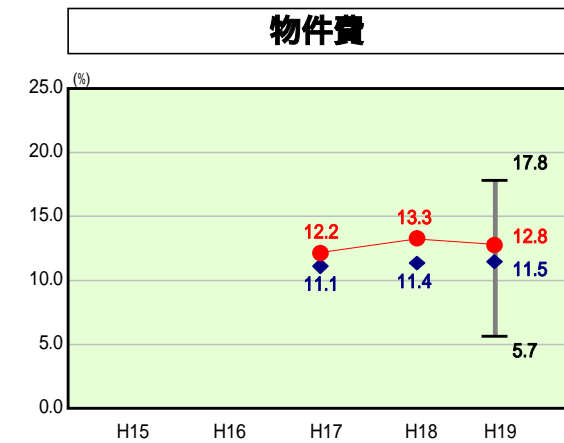
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 ▮
類似団体内最小値 ▮

人口	44,614人(H20.3.31現在)
面積	230.22 km ²
歳入総額	20,955,436千円
歳出総額	19,843,927千円
実質収支	1,091,585千円

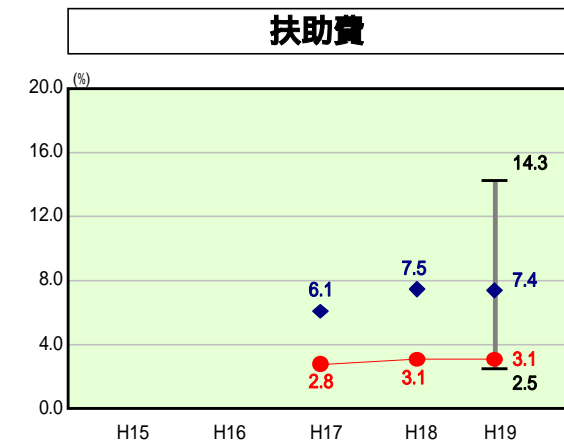
H19類似団体内順位 39/132
全国市町村平均 92.0
千葉県市町村平均 92.1



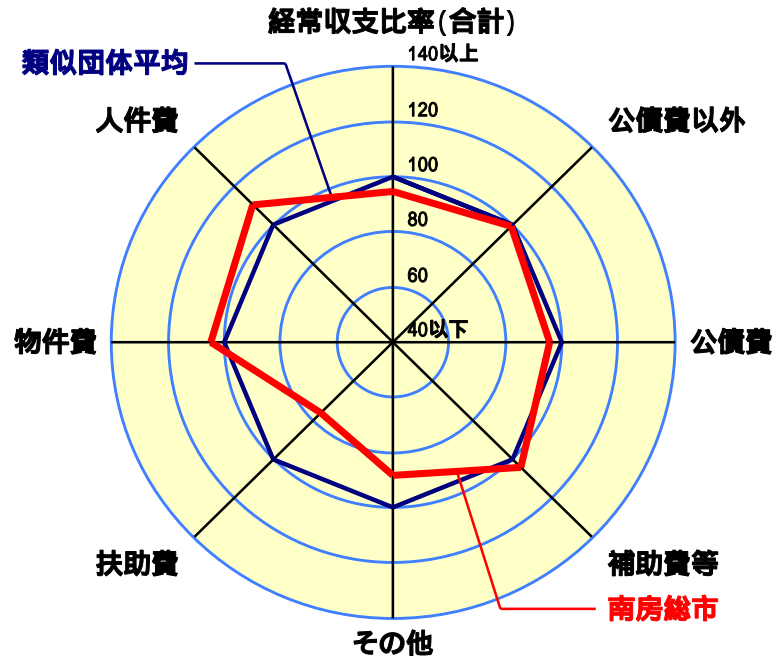
H19類似団体内順位 109/132
全国市町村平均 28.0
千葉県市町村平均 32.1



H19類似団体内順位 90/132
全国市町村平均 13.1
千葉県市町村平均 16.9



H19類似団体内順位 2/132
全国市町村平均 8.8
千葉県市町村平均 8.0



- 1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

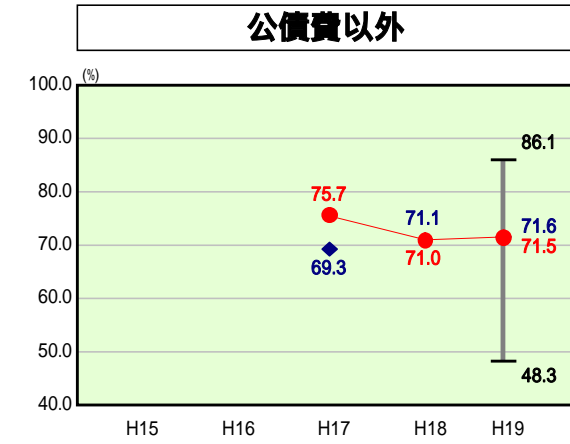
【人件費】
職員数が類似団体と比較して大きく上回っているために、経常収支比率の人件費分が高くなっている。これは、市町村合併による旧団体からの職員を引き継いだことが大きな要因で、今後職員の定員適正化計画の取り組みにより、新規採用の抑制(一般行政職については、定年退職者の概ね1/10採用)を図る等、長期的視点に立った定員管理に努める。

【物件費】
物件費に係る経常収支比率が類似団体平均を上回っているのは、主に公共施設の管理運営費が高くなっているためである。これは、市町村合併時に合併前と変わらない住民サービスを維持するため、旧団体運営施設を合併後も継続し、類似団体に比べ公共施設数が増えているからである。今後は、民間委託や指定管理者制度の導入などによる効率的運営に努めるとともに、公共施設の再編を検討していく方針である。

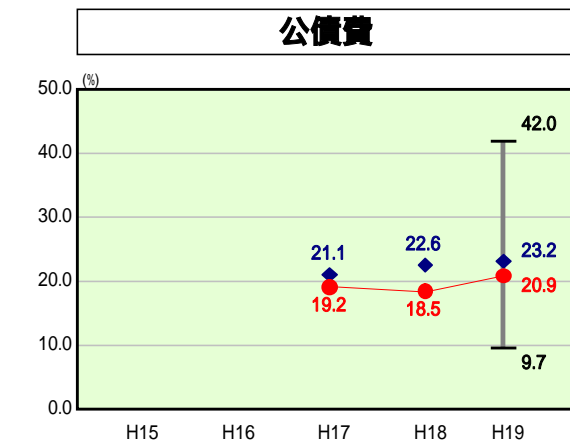
【補助費等】
補助費等に係る経常収支比率が類似団体平均を上回っているのは、一部事務組合への負担金が高くなっているためである。これは、他団体との共同処理事業が多く、設立組合数が増えているためである。また、各種団体や事業に対する補助交付金も高くなっており、引き続き、行政効果等を検討のうえ不適当な補助金等の見直しや廃止を行う方針である。

【公債費】
類似団体平均と比較すると、公債費に係る経常収支比率は低くなっているが、千葉県市町村平均を上回っている。近年実施した教育施設建設事業を主要因としているが、後世への負担の軽減と財政構造の弾力性の確保のため、元金償還額以上の新規発行は控えるなど、財政の健全化に努める。

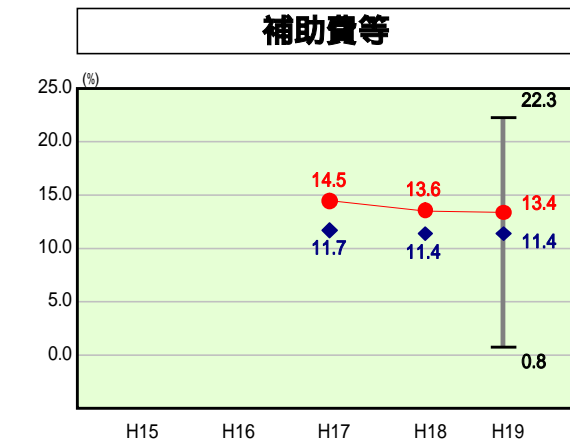
【普通建設事業費】
普通建設事業費の人口1人当たり決算額が平成19年度に大幅に増加したのは、健田小学校や和田中学校屋内運動場の整備、市役所本庁舎の増築などを行ったためである。これらは、新市建設計画に基づいた事業で、来年度以降も教育施設の整備等が計画されるが、普通建設事業の選択にあたっては、費用対効果を十分検討のうえ厳選するとともに、将来負担の軽減のためにも抑制に努める。



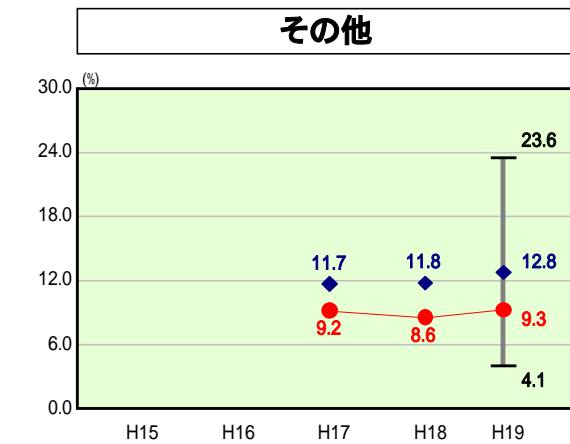
H19類似団体内順位 64/132
全国市町村平均 71.7
千葉県市町村平均 75.7



H19類似団体内順位 53/132
全国市町村平均 20.3
千葉県市町村平均 16.4



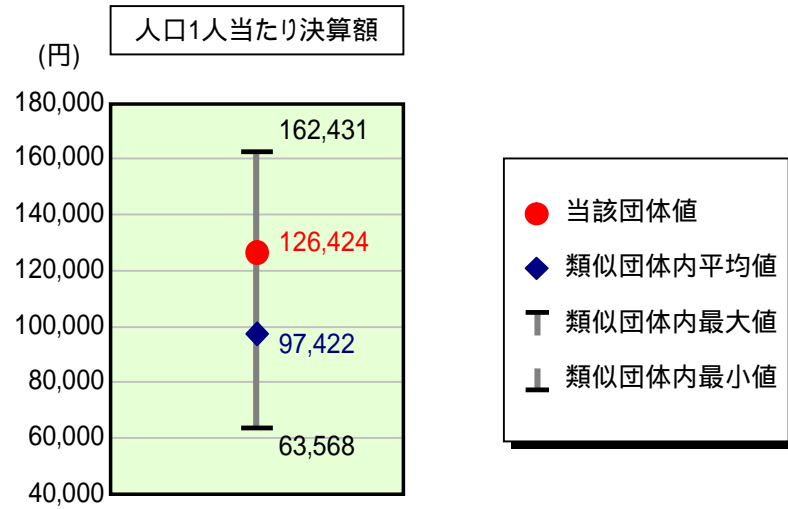
H19類似団体内順位 85/132
全国市町村平均 10.4
千葉県市町村平均 8.5



H19類似団体内順位 14/132
全国市町村平均 11.4
千葉県市町村平均 10.2

歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

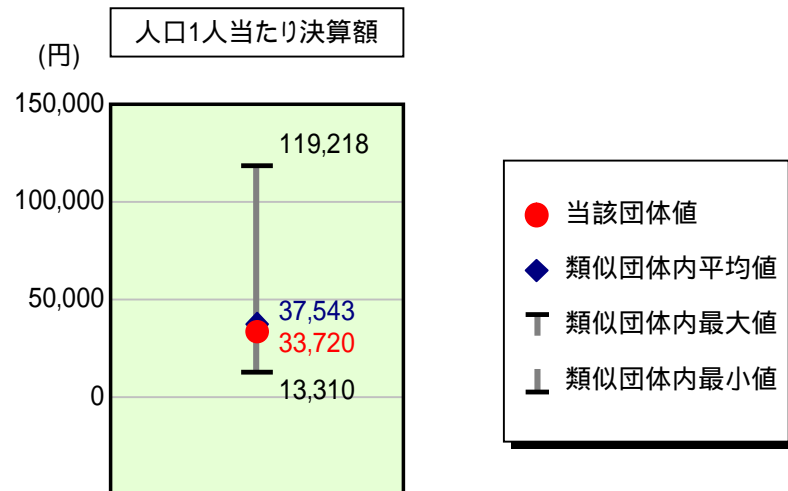
項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	4,868,580	109,127	89,029	22.6
賃金(物件費)	194,796	4,366	4,561	4.3
一部事務組合負担金(補助費等)	827,613	18,551	9,909	87.2
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	6,439	144	465	69.0
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	0	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	137,510	3,082	3,488	11.6
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	165,418	3,708	1,823	103.4
退職金	560,097	12,554	11,853	5.9
合計	5,640,259	126,424	97,422	29.8

参考

項目	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	13.54	9.75	3.79
ラスパイレース指数	97.9	95.6	2.3

ラスパイレース指数及び職員数に係る項目については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである(以降の項目について同じ。)。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目を「-」としている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

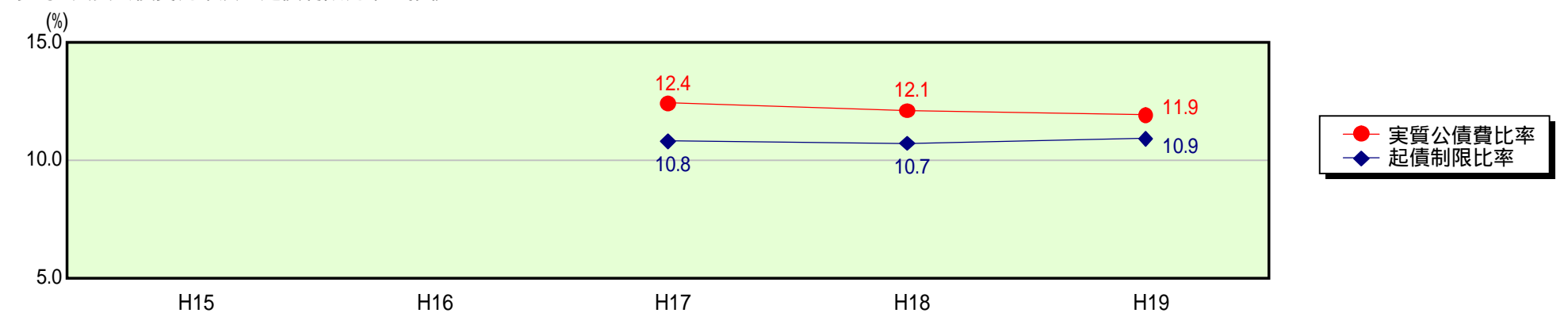


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	2,888,541	64,745	60,275	7.4
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	34	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	136,483	3,059	14,851	79.4
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	224,344	5,029	4,562	10.2
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	18,241	409	2,366	82.7
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	39	-
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	1,763,223	39,522	44,584	11.4
合計	1,504,386	33,720	37,543	10.2

平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、「-」としている(以降の項目について同じ。)

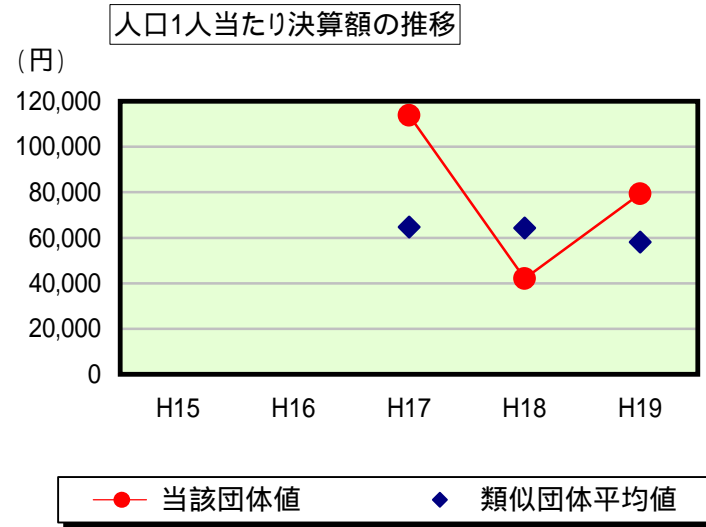
参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

千葉県 南房総市

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A) - (B)
H15	-	-	-	-	-	-
うち単独分	-	-	-	-	-	-
H16	-	-	-	-	-	-
うち単独分	-	-	-	-	-	-
H17	5,203,526	113,791	-	64,690	-	-
うち単独分	4,336,255	94,825	-	39,427	-	-
H18	1,899,605	42,071	63.0	64,305	0.6	62.4
うち単独分	1,035,826	22,941	75.8	34,136	13.4	62.4
H19	3,537,266	79,286	88.5	58,137	9.6	98.1
うち単独分	1,317,701	29,536	28.7	29,406	13.9	42.6
過去5年間平均	3,546,799	78,383	12.8	62,377	5.1	17.9
うち単独分	2,229,927	49,101	23.6	34,323	13.7	9.9